

日本語能力試験N1 「合格体験記」

～自己規律を守れる強い情熱～

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科2年生

トー ゼイン トウン

私は、今年、日本語能力試験N1の合格、原付き免許の取得と介護福祉士国家試験の合格、その3つを目標にしています。そして、この夏、一つめの目標であるN1に合格できたので、次の2つの目標をかなえる段階に上がっています。N1合格のために私は、自分に対して規律を決め、厳しく計画を立てて取り組みました。

私は、試験の三ヶ月前から勉強する計画を立てて少しずつ勉強していました。読解が苦手な私にとっては、多くの過去問題を毎日読んで解決し、読んでいる間に分からない言葉が出てきた場合は、別のノートでメモしてスクールバスに乗るとき、電車やバスに乗るときに繰り返し読んで自然に覚えるまで努力しました。

留学生支援課が企画してくださった対策講座も受講して、日本語の先生から教えてくださった大事なポイントをメモしたのは本番でとても役に立ちました。クラスの中でN1に合格した友達にも分からないことを聞いたり、どのような準備すれば良いのかを一人一人にアドバイスをもらいました。

試験の一ヶ月前には、図書館から模擬試験の本をたくさん借りて時間を決めて問題を解いてみることを繰り返し、終わったら採点し、一番点数の少ない部分を重点的に勉強しました。勉強した分野は、読解が一番多かったです。そのため、試験の結果で読解の点数はある程度多く取れました。一方で、聴解を全く勉強していなかったため聴解の点数は一番少なくなっていました。それだけではなく、試験の直前までたくさんの聴解を聞き余裕のない状態だったため、頭が冴えておらず、やさしく解決できる問題を間違いました。もっと以前から聴解の勉強をして、頭をクリアにしておけば今のより多くの点数を取ることができたと考えます。

私は、「N1の勉強をただ何となくしていた」というより「N1の試験に絶対に合格出来るように勉強した」と言えます。それを達成できたのは、自分で決めた計画がしっかりしていたおかげだと思います。どのような計画を立てても、その計画どおりに長く守り続けることは人間にとって難しいことは当たり前です。私も、3ヶ月の間に「勉強したくない、遊びたい、したい」思う日はたくさんありました。勉強のリズムを作るため大事なことなので、私は、よく考えて計画を立てました。N1に合格したい情熱が強くなるように自分の部屋の壁に「N1に必ず合格する！」「自己規律を守れば良い成果は出る」と書いて貼っていました。そのおかげで、勉強するリズムはほとんど崩れず日本語能力試験N1に一発で合格できましたのです。私の体験が、これから受験する皆さんに少しのヒントとなれば幸いです。